

平成 19 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（非連結）

平成 19 年 2 月 2 日

上場会社名 マナック株式会社

(コード番号：4364 東証第二部)

(URL <http://www.manac-inc.co.jp/>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 杉之原 祥二

TEL (084)926-0433

責任者役職・氏名 取締役管理本部長 宮澤 健治

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 法人税等の計上基準は法定実効税率をベースとした簡便な方法を採用しているほか、その他影響額が僅少なものにつき一部簡便な方法を採用しております。
- ② 最近会計年度からの会計処理方法の変更の有無 : 無
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成 19 年 3 月期第 3 四半期財務・業績の概況（平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 12 月 31 日）

(1) 経営成績の進捗状況

(百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19 年 3 月期第 3 四半期	5,889	12.8	493	153.8	535	131.1	379	213.0
18 年 3 月期第 3 四半期	5,222	4.1	194	△7.9	231	△8.3	121	△8.2
(参考) 18 年 3 月期	7,242		348		317		179	

	1 株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19 年 3 月期第 3 四半期	45	14		—
18 年 3 月期第 3 四半期	14	41		—
(参考) 18 年 3 月期	20	21		—

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 3 四半期（平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 12 月 31 日）におけるわが国の経済は、高水準で推移する企業収益を背景として設備投資が増加し、雇用情勢の改善から個人消費も緩やかに増加するなど着実な回復を続けてまいりました。

化学業界におきましては、国内外の需要は堅調に推移し、高水準の生産が続きましたが、原材料及び燃料価格の高止まりによる製造コスト負担増の状況が継続しております。

このような状況のもと、当社は、事業構造の変革と高利益体質への転換を目指して、既存事業の拡大と新しい事業領域への展開に積極的に取り組んでまいりました。

その結果、当第 3 四半期の業績につきましては、難燃剤、ヨウ素関連製品及び電子材料分野の製品が I T 関連分野の動向に伴い好調に推移し、また、原材料価格の上昇に対応した販売価格の是正による効果も寄与したことなどから、売上高は 5,889 百万円（前年同期比 12.8%増）となりました。利益面におきましては、売上高の増加及び設備稼働が高水準で推移したこと等の収益増加要因により、営業利益は 493 百万円（前年同期比 153.8%増）、経常利益は 535 百万円（前年同期比 131.1%増）、四半期純利益は 379 百万円（前年同期比 213.0%増）となりました。

(2) 財政状態の変動状況

(百万円未満切捨)

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第3四半期	11,730	8,797	75.0	1,047 49
18年3月期第3四半期	11,341	8,592	75.8	1,022 44
(参考) 18年3月期	11,127	8,664	77.9	1,030 06

【キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第3四半期	857	△213	△156	2,103
18年3月期第3四半期	21	△741	△131	1,541
(参考) 18年3月期	421	△1,035	△162	1,616

[財政状態の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期末における総資産は、11,730百万円となり、前会計年度末に比べ603百万円増加いたしました。これは主に、有形固定資産が194百万円、投資有価証券が179百万円減少したものの、現金及び預金が486百万円、受取手形及び売掛金が310百万円、たな卸資産が194百万円増加したこと等によるものであります。

負債につきましては、2,933百万円となり、前会計年度末に比べ470百万円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が515百万円増加したこと等によるものであります。

純資産につきましては、利益剰余金が増加したこと等により8,797百万円となりました。この結果、自己資本比率は75.0%となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動の結果得られた資金は857百万円となりました。投資活動の結果使用した資金は213百万円となり、また、財務活動の結果使用した資金は156百万円となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第3四半期末残高は2,103百万円となり、前会計年度末に比べ487百万円増加いたしました。

3. 平成19年3月期の業績予想 (平成18年4月1日～平成19年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	7,500	430	310

(参考) 1株当たり予想当期純利益 (通期) 36円 91銭

[業績予想に関する定性的情報等]

現時点において、平成18年11月10日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

※上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであります。実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

[添付資料]

1. (要約) 四半期貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成19年3月期 第3四半期末)	前年同四半期 (平成18年3月期 第3四半期末)	増 減		(参 考) 平成18年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
I 流動資産					
1. 現金及び預金	1,792	1,231			1,305
2. 受取手形及び売掛金	3,274	2,899			2,964
3. 有価証券	310	330			330
4. たな卸資産	1,408	1,539			1,214
5. その他	131	127			104
流動資産合計	6,918	6,128	790	12.9	5,919
II 固定資産					
1. 有形固定資産					
(1) 建物及び構築物	884	615			927
(2) 機械装置	1,265	960			922
(3) 土地	827	827			827
(4) その他	223	1,047			718
有形固定資産合計	3,201	3,451	△249	△7.2	3,396
2. 無形固定資産	7	10	△2	△27.0	9
3. 投資その他の資産					
(1) 投資有価証券	1,411	1,544			1,591
(2) その他	191	207			210
投資その他の資産合計	1,602	1,751	△148	△8.5	1,801
固定資産合計	4,812	5,213	△401	△7.7	5,207
資産合計	11,730	11,341	388	3.4	11,127

科 目	当四半期 (平成19年3月期 第3四半期末)	前年同四半期 (平成18年3月期 第3四半期末)	増 減		(参 考) 平成18年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(負債の部)					
I 流動負債					
1. 支払手形及び買掛金	1,574	1,190			1,059
2. 一年内返済予定の長期 借入金	65	80			70
3. 未払金	313	540			356
4. その他	479	240			311
流動負債合計	2,432	2,051	380	18.6	1,797
II 固定負債					
1. 長期借入金	100	165			145
2. 退職給付引当金	166	205			180
3. 役員退職慰労引当金	71	102			106
4. その他	162	224			233
固定負債合計	500	697	△196	△28.2	665
負債合計	2,933	2,749	184	6.7	2,462
(資本の部)					
I 資本金	—	1,757	—	—	1,757
II 資本剰余金	—	1,947	—	—	1,947
III 利益剰余金	—	4,471	—	—	4,529
IV その他有価証券評価差額金	—	494	—	—	509
V 自己株式	—	△78	—	—	△79
資本合計	—	8,592	—	—	8,664
負債及び資本合計	—	11,341	—	—	11,127
(純資産の部)					
I 株主資本					
1. 資本金	1,757	—	—	—	—
2. 資本剰余金	1,947	—	—	—	—
3. 利益剰余金	4,794	—	—	—	—
4. 自己株式	△82	—	—	—	—
株主資本合計	8,417	—	—	—	—
II 評価・換算差額等					
その他有価証券評価 差額金	379	—	—	—	—
評価・換算差額等合計	379	—	—	—	—
純資産合計	8,797	—	—	—	—
負債純資産合計	11,730	—	—	—	—

2. (要約) 四半期損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成18年3月期 第3四半期)	増 減		(参 考) 平成18年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
I 売上高	5,889	5,222	667	12.8	7,242
II 売上原価	4,450	4,027	422	10.5	5,578
売上総利益	1,439	1,195	244	20.4	1,664
III 販売費及び一般管理費	946	1,000	△54	△5.5	1,315
営業利益	493	194	298	153.8	348
IV 営業外収益	52	48	3	8.0	62
V 営業外費用	10	11	△1	△12.1	94
経常利益	535	231	304	131.1	317
VI 特別利益	120	—	120	—	—
VII 特別損失	7	21	△14	△64.5	24
税引前四半期(当期)純利益	648	210	438	208.6	292
税金費用	269	88	180	202.7	113
四半期(当期)純利益	379	121	258	213.0	179

3. (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成18年3月期 第3四半期)	(参考) 平成18年3月期
区 分	金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前四半期(当期)純利益	648	210	292
減価償却費	331	290	393
受取利息及び受取配当金	△16	△12	△12
支払利息	1	2	2
訴訟和解金収入	△108	—	—
売上債権の増加額	△310	△222	△287
たな卸資産の減少額(△増加額)	△194	△130	194
仕入債務の増加額(△減少額)	493	83	△28
その他	10	△61	△2
小 計	855	158	552
利息及び配当金の受取額	16	12	12
利息の支払額	△1	△1	△2
法人税等の支払額	△124	△163	△156
訴訟和解金の受取額	108	—	—
その他	1	15	16
営業活動によるキャッシュ・フロー	857	21	421
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有価証券の取得による支出	△20	△20	△20
有価証券の売却による収入	40	—	—
有形固定資産の取得による支出	△194	△657	△929
投資有価証券の取得による支出	△38	△63	△85
その他	—	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△213	△741	△1,035
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
長期借入金の返済による支出	△50	△65	△95
自己株式の取得による支出	△2	△3	△4
配当金の支払額	△104	△62	△62
財務活動によるキャッシュ・フロー	△156	△131	△162
IV 現金及び現金同等物に係る換算差異	0	0	0
V 現金及び現金同等物の増加額 (△減少額)	487	△851	△776
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1,616	2,392	2,392
VII 現金及び現金同等物の期末残高	2,103	1,541	1,616

4. 販売の状況

【品目別売上高】

(単位：百万円、%)

品 目	当四半期 (平成19年3月期 第3四半期)		前年同四半期 (平成18年3月期 第3四半期)		増 減	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率
難 燃 剤	2,039	34.6	1,912	36.6	126	6.6
無 機 臭 化 物	510	8.7	436	8.4	73	16.9
有 機 薬 品	2,131	36.2	1,619	31.0	511	31.6
一 般 無 機 物	1,138	19.3	1,223	23.4	△84	△6.9
そ の 他	69	1.2	30	0.6	39	131.2
合 計	5,889	100.0	5,222	100.0	667	12.8

(参考)

【事業別売上高】

(単位：百万円、%)

事 業	当四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	
	金 額	構成比
ヨード事業	524	8.9
ファインケミカル事業	1,323	22.5
樹脂関連事業	2,904	49.3
ヘルスサポート事業	1,137	19.3
合 計	5,889	100.0